

## 浜の活力再生プラン (第2期)

### 1 地域水産業再生委員会

組織名	網田地区地域水産業再生委員会
代表者名	浜口 多美雄（網田漁業協同組合代表理事組合長）

再生委員会の構成員	網田漁業協同組合、宇土市
オブザーバー	熊本県北広域本部水産課

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	宇土市網田地区 海苔養殖業 54名 アサリ等採貝漁業 113名 計 167名
-----------------------	---

### 2 地域の現状

#### (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>網田地区は、宇土市の有明海に面した静かな漁村地帯であり、ノリ養殖業とアサリ採貝業が地域の基幹産業となっている。</p> <p>しかしながら近年、地球温暖化、漁業用資材価格の高騰び後継者不足などの影響により、水産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。海苔養殖業については、漁期の短期化や早期色落ち等が発生し、生産量が減少している。また、漁場環境の悪化等による二枚貝類資源の減少により、当該漁家にとって厳しい経営が続いている。</p>
--

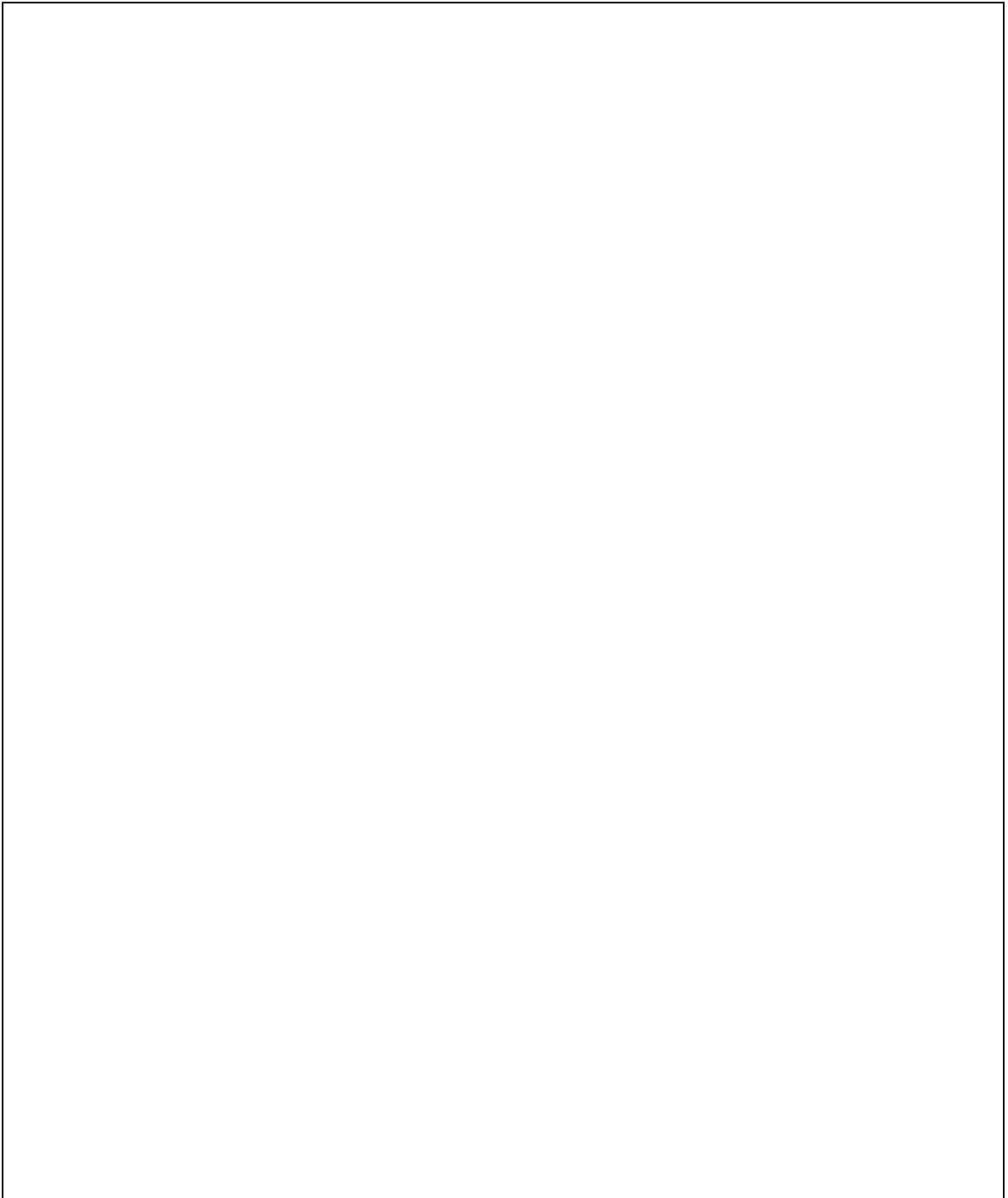
#### (2) その他の関連する現状等

<p>後継者不足のほか、繁忙期における臨時従事者等の担い手不足も生産量減少の一因となっている。</p>
---

### 3 活性化の取組方針

#### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

<p>①海苔の単価向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・買い手（海苔商社等）の要求する製品作り（品質向上）のための商社訪問を行い、それによって得られた情報共有のための研修会を実施し、生産者全員が共通認識を持ち、海苔の品質向上や単価向上に取り組む。</li></ul> <p>②アサリの漁場環境の保全と資源量の増大</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安定した漁場環境回復及び資源回復を実現するため、有害生物の駆除、干潟の耕うん及び稚貝採集袋の設置試験等を実施する。また、引き続き漁協が策定したアサリ資源管理計画に基づく取組みを継続する。</li></ul> <p>③経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・減速航行等により燃油コストの削減を図る。</li><li>・燃油の高騰によるコスト増を抑えるため、漁業経営セーフティネット構築等事業への加入を促進する。</li><li>・全自動海苔乾燥機の高性能化や高性能海苔刈取船等の導入を促進し、一層のコスト削減を図る。</li></ul>
--

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

<p><b>【海苔養殖業】</b></p> <p>海苔養殖業に関しては、漁場改善計画に基づき適正養殖可能数量を設定している。また、生産管理等の取組みを検討し厳守していく。</p> <p><b>【採貝漁業】</b></p> <p>アサリ採貝漁業は、自主的に休漁期間を設定し、また殻幅 13mm以上を漁獲サイズとして資源管理に努めている。ハマグリ採貝漁業は、自主的に休漁期間を設定し、殻幅 17mm以上を漁獲サイズとして資源管理に努めている。</p>
---

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和2年度）以下の取組により漁業所得を基準年より6.6%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p><b>【海苔養殖業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海苔商社のニーズを把握し、それに合った製品づくりに取り組むために勉強会等を通じて生産者全員が共通認識を持って加工することにより、競争力を高め単価の向上を図る。</li><li>・各生産者が加工場の衛生管理を徹底して行き、安全安心な海苔の生産を行う。</li><li>・潮位・海況に合わせた適切な網管理を行い、また葉体のチェックを行うことで、病気を早期に発見し、迅速な対策を行うことで病害の蔓延を最小限と</li></ul>
--------------	--

	<p>し、品質向上を図る。</p> <p><b>【採貝漁業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協で策定したアサリ資源管理計画（稚貝着底基質等の活用、貝の撒き付け、有害生物の駆除、漁場調査、干潟漁場耕うんによる底質改善、採捕規格・数の制限等）に基づき、アサリ資源及び生産量の増大を図る。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。</li> <li>・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を推進し、コスト削減を図る。</li> <li>・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。</li> </ul>
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業

2年目（令和3年度）以下の取組により漁業所得を基準年より9.5%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p><b>【海苔養殖業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海苔商社のニーズを把握し、勉強会等を通じて生産者全員が共通認識を持って加工することにより競争力を高め単価の向上を図る。</li> <li>・各生産者が加工場の衛生管理を徹底して行い、安全安心な海苔の生産を行う。</li> <li>・潮位・海況に合わせた適切な網管理、病気の早期発見と迅速な対策により、病害の蔓延抑止、品質向上を図る。</li> </ul> <p><b>【採貝漁業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協で策定したアサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源及び生産量の増大を図る。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。</li> <li>・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を推進し、コスト削減を図る。</li> <li>・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。</li> </ul>

活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業
-----------	---

3年目（令和4年度）以下の取組により漁業所得を基準年より12.3%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p><b>【海苔養殖業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海苔商社のニーズを把握し、勉強会等を通じて生産者全員が共通認識を持って加工することにより競争力を高め単価の向上を図る。</li> <li>・各生産者が加工場の衛生管理を徹底して行い、安全安心な海苔の生産を行う。</li> <li>・潮位・海況に合わせた適切な網管理、病気の早期発見と迅速な対策により、病害の蔓延抑止、品質向上を図る。</li> </ul> <p><b>【採貝漁業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協で策定したアサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源及び生産量の増大を図る。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。</li> <li>・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を推進し、コスト削減を図る。</li> <li>・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。</li> </ul>
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業

4年目（令和5年度）以下の取組により漁業所得を基準年より15.2%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p><b>【海苔養殖業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海苔商社のニーズを把握し、勉強会等を通じて生産者全員が共通認識を持って加工することにより競争力を高め単価の向上を図る。</li> <li>・各生産者が加工場の衛生管理を徹底して行い、安全安心な海苔の生産を行う。</li> <li>・潮位・海況に合わせた適切な網管理、病気の早期発見と迅速な対策により、病害の蔓延抑止、品質向上を図る。</li> </ul>
--------------	---

	<p><b>【採貝漁業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協で策定したアサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源及び生産量の増大を図る。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。</li> <li>・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を推進し、コスト削減を図る。</li> <li>・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。</li> </ul>
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業

5年目（令和6年度）以下の取組により漁業所得を基準年より18.1%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p><b>【海苔養殖業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海苔商社のニーズを把握し、勉強会等を通じて生産者全員が共通認識を持って加工することにより競争力を高め単価の向上を図る。</li> <li>・各生産者が加工場の衛生管理を徹底して行い、安全安心な海苔の生産を行う。</li> <li>・潮位・海況に合わせた適切な網管理、病気の早期発見と迅速な対策により、病害の蔓延抑止、品質向上を図る。</li> </ul> <p><b>【採貝漁業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協で策定したアサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源及び生産量の増大を図る。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。</li> <li>・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を推進し、コスト削減を図る。</li> <li>・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。</li> </ul>

活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業
-----------	---

(5) 関係機関との連携

生産者勉強会において、生産者が商社ニーズを正しく認識し生産加工を行うことで、単価向上の取組みの効果が発揮できるよう、県や市等の行政機関及び熊本県漁業協同組合連合会と連携し、商社訪問の設定や商社ニーズや課題の整理を行う。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 28-30 年度：漁業所得（1人あたり）円
	目標年	令和 6 年度：漁業所得（1人あたり）円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

別添算定資料のとおり

(3) 所得目標以外の成果目標

海苔平均単価の向上 (海苔1枚当たりの単価の向上)	基準年	2013~2017 年度：11.02 円/枚
	目標年	2023 年度：11.32 円/枚

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

海苔1枚当たりの単価は、商社訪問等により商社ニーズを正確に把握し、得られた情報は勉強会等を通じて生産者全員が共有して生産加工を行い、品質向上に努めていることから、取り組みの継続によって達成可能と考える。

(表：年度別海苔平均単価)

年度	平均単価
H26	9.48
H27	11
H28	12.03
H29	14.25
H30	11.56
5カ年平均	11.02

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産多面的機能発揮 対策事業	干潟耕うん、有害生物の除去等を実施し、漁場環境の回復を図る。
水産業競争力強化漁 船導入緊急支援事業	高性能海苔刈取船導入により、一層のコスト削減等を図る。
競争力強化型機器等 導入緊急対策事業	省エネタイプの漁船エンジン、海苔全自動乾燥機導入により燃油コスト削減等を図る。
漁業経営セーフティ ネット構築事業	燃油高騰による経費増加を抑制する。